



きんひが通信

令和4年3月2日
〈第47号〉
校長 平塚智康

加賀市の獅子舞のひみつを探る！

2月18日（金）、3年生が総合的な学習の時間に「加賀市の獅子舞のひみつを探る！」の学習を行いました。この日の講師は、「我らが守り神 石川県加賀市の獅子頭たち」の著者で、写真家・フリーライターの稲村行真さんです。

子どもたちは、まず、教室に用意された、大聖寺永町・橋立の田尻町・片山津の潮津町の獅子頭を観察し、そのちがいを探しました。稲村さんの調査によると、加賀市内には現在127体の獅子頭が残っていて、大きさ・色・飾り・角・歯・毛・耳など、それぞれに特色があるということについて写真を見せながら解説して下さいました。次に、大聖寺の関町・西栄町の獅子舞、田尻町の獅子舞の動画を見ながら、獅子舞にも町内によって、ちがいや特色が見られることに気づきました。



3年 ○○ ○○

石川県にはししまいの数が900もあると聞いてびっくりしました。ししまいは、昔からあって今までずっとうけつがれているのがすごいなと思いました。ししまいで、頭をかむのは、悪いものを食べてくれるという意味があることを知っておどろきました。ぼくもししまいをやって広めていきたいです。

3年 ○○ ○○

わたしはこれまでししまいがこわくて、家そくでししまいを見に行ったときはありませんでした。けど、きょういなむらさんの話を聞いて、ししまいはわるいものをはらってくれるいいものだとなりました。こんどから、ししまいをみたときには、こわがらずにあたまをかんでもらいたいです。

3年 ○○ ○○

ししまいのしし頭にはしゅるいがたくさんあって、ちいきによってちがうことがわかりました。また、ししまいにもやり方にちがいがあることがわかりました。その町によって、ししまいのやり方がちがってすごいなと思いました。ししまいはとてもみりよくてきだと思いました。

（裏へつづく）

3年 〇〇 〇〇

今日いなむらさんのお話を聞いて、ししまいは地区によって色やもようがちがって、ししまいのやり方もちがうことが分かってびっくりしました。しし頭を動かす、ししまいをするのは大へんそうでした。だけど、おもしろそうでした。もっといろんなししまいを見たいです。

3年 〇〇 〇〇

今日獅子舞の話をたくさん聞きました。獅子舞は悪りょうたいさんのためにおこなっていることがわかりました。ぼくも獅子舞をやってみたいなと思いました。

3年 〇〇 〇〇

今日ししまいの話をきいてすごいとおもったことが2つあります。1つめは、いろいろな町にししがいて、ししまいがあるということがすごいと思いました。2つめは、ししには、小さいのから大きいのまでいろんなしゆるいがあって、それぞれいみがあるというのもすごいと思いました。

3年 〇〇 〇〇

今日、ししまいの話を聞いて、ししまいのひみつがたくさん知れてよかったです。ししまいには、意味があって、地いきの人たちのねがいがこめられていることもよくわかりました。ししまいのことをもっとよく知るためにししまいを見に行きたいです。

3年 〇〇 〇〇

今日、ししまいについて、稲村さんが話をしてくれました。ししまいは何で人の頭をかむかという、悪りょうをなくしてくれるということがわかりました。人のわるいところをなくしてくれていたのが、ししまいだと今日の話でわかりました。ししまいについてもっと知りたいと思いました。

3年 〇〇 〇〇

今日ししまいについてべんきょうしました。第1しちょうかくしつに、めちゃでかいししがおいでありました。ししまいのしゃしんもたくさんありました。ししまいのどうがもみました。ひさしぶりにししまいを見てうれしかったです。さいごに、ししをもたせてもらいました。とてもうれしかったです。



㊦ 「どうして獅子舞が行われるようになったのでしょうか？獅子舞には、地域の人たちのどんな願いがこめられているのでしょうか？」・・・講師の稲村さんの問いに対して、子どもたちは一生懸命考え、自分の考えを発表していました。稲村さんによると、こんなにたくさんの特色ある獅子舞が各町内で受け継がれている市は、全国的にも例を見ないということです。永町や敷地町、菅生町など、自分たちの町内にも獅子頭や獅子舞があることを知り、それらを見たい、やってみたいという子たちもたくさんいました。獅子頭や獅子舞を大切にしながら、悪疫退散や家内安全を祈り、町内の人々が協力・団結してきた加賀市のすてきな歴史や文化を、東っ子たちにも継承して行ってほしいなと思いました。